

# 子宮頸がん予防ワクチンの 接種勧奨再開

## 個別接種勧奨の再開

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種は、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛（痛み・うずき）が、子宮頸がん予防ワクチン接種後に見られたため、国からの勧奨に従い、積極的な勧奨を差し控えていました。

このたびは専門家による検討会で、ワクチンの安全性について特段の懸念がないことや、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回る」と認められました。そのため、子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について、個別の勧奨が再開されることになりました。

本年度から定期接種の対象となる人に、案内文書を送付します。

## 【定期接種対象者】

小学6年生から高校1年生相当年齢の女子

（令和4年度は、平成18年4月2日～平成23年4月1日に生まれた人）

## 接種を受けていない人へ

ワクチン接種の勧奨が差し控えられていた期間（平成25年～令和3年）に定期接種の対象だった人で、接種の機会を逃した人は、無料で接種を受けることができます。

対象者には、4月以降に順次案内文書を送付する予定です。

## 【対象者】

次の2つを満たす人

▼平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性

▼過去にワクチンの接種を合計3回受けていない人

※平成18・19年度生まれの人は、通常の接種対象（小学6年生～高校1年生相当）の年齢を超えても、接種を受けることができます。

## 【実施期間】

令和7年3月31日まで

## 問い合わせ

保健医療課医療予防係

☎0824・73・1155

# 風しんの抗体検査・予防接種の 期間延長

風しんの発生とまん延防止のため、定期接種を受ける機会がなかった人を対象に、令和3年度まで抗体検査と予防接種を実施してきましたが、このたび、実施期間が3年間延長となりました。

対象者には、抗体検査と予防接種を無料で受けるためのクーポン券を、4月中に発送します。

風しんに感染しないため、周囲の人に感染させないために、抗体検査と予防接種を受けましょう。

## 【風しんとは】

風しんウイルスによって起こる感染症で、患者のくしゃみや咳などの飛沫により、**症状が出る前から**ヒトからヒトへと感染が広がります。

通常、2～3週間の潜伏期間後に、発熱や発疹、耳の後ろや首のリンパ節の腫れ、関節の痛みなどの症状が見られます。

◆高熱・発疹の長期化や関節痛など、**成人は重症化の恐れ**があります。

◆強い感染力があり、妊婦が感染すると、生まれてくる**赤ちゃんの目や耳、心臓に障害**が起る恐れが高まります。

## 【対象者】

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性  
（過去に送付したクーポン券をまだ使用していない人に限る）

## 【実施期間】

令和7年3月31日まで

## 【抗体検査・予防接種の流れ】

### ①抗体検査

クーポン券が届いたら、健康診断などを活用し、風しんの抗体を持っているか、検査を受けましょう。検査は血液検査で行います。

←抗体がない人は…

### ②予防接種

検査の結果、風しんに対する抵抗力がないことが分かった場合は、最寄りの病院で予防接種を受けましょう。

## 【問い合わせ】

保健医療課医療予防係

☎0824・73・1155